



新☆びゃくか (白花) たより

手打ちそばぐる〜び

白 花

第27号 : 28. 12. 25

11月は5日にあいの里児童会館で、23日にツクイ西野で、それぞれそば打ち体験ボランティアを行いました。



あいの里地区には児童会館が2か所あり、白花メンバーも初めて行く場所なので若干迷いましたが、何とか予定時間ギリギリで集合しました。

当日は今冬初の本格的な降雪に見舞われて足元が悪い中、大勢の児童と父兄の参加がありました。

あいの里児童会館の館長は、白花が毎年そば打ち体験ボランティアを行っている富丘児童会館に勤務していた方で、当時、子どもたちが喜ぶ姿を目の当たりにして、自分が館長となったあいの里児童会館でも、今後継続して実施しようと決めたそうです。

どこの児童会館でもそうですが、そば打ちを初めて見る子が多いので、興味を持つ子どもは、時間前に来て打ち台を取り囲むようにして熱心に見詰めてくれます。



今回参加してくれた子どもの中に、水廻しから練りま

での腕の動かし方が随分手慣れている女の子がいて、聞くと、物心がついた頃から麺(うどん)をいじっていたらしく、目を見張るものがありました。

お昼のそばは、他の児童会館と同様に、ご多分に洩れずお代わりする子どもも出て、父兄共々大変喜んでいただき大盛況のうちに終了しました。



ツクイ西野は昨年新規開館した施設で、白花が毎年そば打ち体験ボランティアを行っているツクイ稲穂に勤務されていた方が館長として赴任され、稲穂で好評だったことから今回のイベントとなったようです。



この施設に入所している方々はとても明るい雰囲気、比較的に元気なおじいちゃんおばあちゃんが多く、体験打ちも初めはモジモジしていましたが、1人が参加すると続いて3~4人が麺体や押し棒に触って楽しんでいました。

今回、大変驚いた出来事がありました。

施設の職員の中に、私 tanbo が元勤めていた会社の同僚がいたことです。

お人形さんの様に可愛い人で、結婚を機に23年位前に退社されて以来の再会でした。

子どもも大学を出て自立したので、社会復帰したそうです。

在職当時、一緒に苦勞した仲間だけに、苦勞した分だけ思い出が蘇り、仲間って何時になっても良いものだな〜ってつくづく感じました。

